

令和5年度 微生物モニタリング技術研修会のご案内

公益社団法人日本実験動物協会

当協会では「実験動物の感染症と微生物モニタリング」および「微生物モニタリングの実施要領とその解説」並びに「マウス・ラットの微生物モニタリングDVD」を刊行するなど微生物モニタリングに関する知識の啓発を図るとともに技術研修を通じ自家検査の充実を進めております。

本年度も微生物モニタリング技術を修得するための研修を、別添「令和5年度微生物モニタリング技術研修会要領」に基づき実施しますのでご案内いたします。

参加ご希望の方は要領をお読みの上、所定の手続きによりお申込みください。

この研修会の開催は本年度も1回のみとなります。

研修受講者には修了証を交付いたします。

なお、申込みが定員を上回る場合は、当協会会員（正会員・賛助会員）を優先し、事務局で調整いたします。あらかじめご了承ください。

受講上の留意事項：

① 本研修会では感染予防のため、マスクの着用を必須とします。

実習会場には手指消毒用アルコールを準備しますが、携帯用のものをお持ちの方は持参されても結構です。

② 換気のため、適宜、窓やドアを開けますので、室温の高低に対応できるような服装でご参加ください。

③ 受講当日、体調不良の場合は、けっして無理せず受講を控えていただくようお願いいたします。

研修会紹介：

微生物モニタリング技術を2日間で実践的に学びます。モニタリング検査初心者の方のみならず、すでにモニタリング検査を行っている方のスキルアップにも役に立つ内容となっています。

本研修会では、特に次のようなポイントに特色があります。

1. 経験豊富な講師による講義、少人数グループでの実習。
2. 微生物モニタリング検査を実際に行い、手技の習得、再確認ができる。
3. 実験感染したマウス・ラットの観察、剖検を通し、主要病原体への理解が深まる。
4. 研修会を通じ、同じフィールドの受講生とのつながりができる。
5. (公財) 実験動物中央研究所の施設も見学可能。

なお、本研修では上記の「マウス・ラットの微生物モニタリングDVD」を適宜使って講義をする他、感染動物の供覧による異常動物の発見法に加えて、感染症の発生が懸念される場合の緊急対処法についても教示します。

以上

令和5年度 微生物モニタリング技術研修会要領

1. 日時

令和5年7月7日（金） 9：00～17：00

8日（土） 9：00～17：00

2. 会場

公益財団法人実験動物中央研究所 川崎市川崎区殿町 3-25-12

JR品川駅→京急本線「京急川崎駅」→京急大師線「小島新田駅」下車後、
徒歩15分（受講者へ会場の地図をご案内します）

3. 研修内容

I. 講義「実験小動物の主要感染症：発見から対応まで」

- 1) 実験小動物の主要感染症：その臨床症状および解剖所見
- 2) 異常動物の発見法と発見時の対応
- 3) 人獣共通感染症とその検査意義
- 4) PCR法を用いた感染症診断
- 5) 血清反応の原理と成績の解析
- 6) 微生物モニタリング実施要領とその解説

II. 実習

a. マウス・ラット

- 1) 外見観察
- 2) 麻酔、採血、血清分離、剖検
- 3) 培養、寄生虫検査材料採材
- 4) 主要感染症の病変観察
- 5) 病変部の染色標本（グラム、ギムザ染色）の作成、観察
- 6) 主要病原細菌のコロニー観察とその同定法
- 7) 主要寄生虫の観察
- 8) ELISA法を用いた抗体検査
- 9) PCR法を用いた主要病原体の遺伝子検査

b. モルモット・ウサギ

- 1) 採血、麻酔、剖検
- 2) 呼吸器病・消化器病検査材料採材
- 3) 耳疥癬検査材料採取法
- 4) コクシジウム検査法

4. 講師（予定）

林元展人（実中研 ICLAS モニタリングセンター長）、國田智（自治医科大学）、
滝本一広（国立感染症研）、ほか ICLAS モニタリングセンター職員

5. 定員 20名

6. 参加費

会 員：33,000円（税込み）

賛助会員：38,500円（同上）

非 会 員：44,000円（同上）

7. 必須持参品（詳細は受講決定者へ別途ご案内いたします）

(1) マスク：2日間の実習に十分な枚数

(2) ハサミ：通常マウスの解剖に使用するもの（11cm位）で、両先端がとがり、かつよく切れるもの（直剪刀両鋭と呼ばれるタイプ） 1丁

(3) ピンセット：通常マウスの解剖に使用するもの（11cm位）で、細手で先端がとがったもの、先端の湾曲したピンセットがあればなおよい 1個

(4) マイクロピペット（50 μ l～250 μ lの範囲で使用可能なもの）1本及び
同チップ 約50個

(5) マウス・ラット血清（貴施設飼育動物）：任意

(6) 筆記用具

(7) 『微生物モニタリングの実施要領とその解説—マウス・ラット編』
（公社）日本実験動物協会編：受講者に対し研修会前に送付します。
（料金は受講費に含んでいますので個別購入の必要はありません）

※帽子、白衣、手袋、上履きは会場に用意します。（持参不要）

注）教材のみ写真撮影を許可します。講師の指示に従ってください。

8. 申込方法

受講希望者は別紙の申込書に必要事項を記入の上、FAXにてお申し込みください。

日動協 FAX：03-5215-2232

9. 申込み締め切り

令和5年5月31日（水）

なお、定員になり次第締め切り、当協会HPでお知らせします。

10. 受講者への通知等について

申込み締め切り後、速やかに受講案内および受講費納入案内を送付します。

なお、ご自身の都合で受講をキャンセルされる場合も受講費は返還いたしませんのでご注意ください。

11. 問い合わせ先

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-5 九段ロイヤルビル502号室

公益社団法人日本実験動物協会

TEL：03-5215-2231（平日9:30-17:30まで）

FAX：03-5215-2232

E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

令和5年度 微生物モニタリング技術研修会参加申込書					
フリカ ^ナ 氏 名				歳	男 女
現住所		〒 Tel			
勤 務 先	名称	所属			
	所在地	〒			
	電話	内線 番 FAX			
	Eメール アドレス				
区分(ご自身の本属会社・機関) (右のいずれかを○で囲んで下さい)			正会員 賛助会員 非会員		
書類送付先	1. 現住所 2. 勤務先(いずれかを○で囲んで下さい)				
微生物モニタリングに 関する実務経験の有無		年 月			
動物アレルギーの有無 (具体的な動物種を記入)					
実験動物の感染症と 微生物モニタリング		① 申し込みます(6,700円:消費税・送料込み) ② 不要			
「マウス・ラットの微生物 モニタリングDVD」		③ 申し込みます(3,300円:消費税・送料込み) ④ 不要			
受付月日	※	受付番号	※	参加費	※

- ※印欄は協会が記入します。
- 申込みはFAXでのみ受け付けます。 FAX : 03-5215-2232
- 班分けのため、年齢、性別、モニタリング実務経験を参考にしますので記入願います。
- 「実験動物の感染症と微生物モニタリング」は受講者には特別価格で斡旋いたします。
- 「マウス・ラットの微生物モニタリングDVD」も特別価格で斡旋いたします。
- 動物アレルギーのある方は予め申告してください。
- 申込みが定員を上回る場合は、当協会会員(正会員・賛助会員)を優先し、事務局で調整します。

当協会はこの申込みにより得た個人情報は本研修に関連した目的以外には使用いたしません。